

令和 7（2025）年度 事業報告

令和 7 年度は戦後 80 年にあたる節目の年であり、戦争の悲惨さと平和の尊さに関する特別企画事業を開催するとともに、SNS を活用し多くの府民、市民に対し情報発信を行った。

世界各地で紛争が続き、平和への意識が高まり、当館の果たすべき役割が益々重要となる中、大阪大空襲の日など節目の時期に平和祈念事業を 4 回、特別展示を 3 回実施した。とりわけ、広島市、長崎市との共催で実施した「ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展」は、開催初日には主催者として広島市長、長崎副市長のほか、来賓として大阪府知事、大阪市長が臨席するオープニングセレモニーを実施し、被爆の実相にせまる展示として多くの来館者から共感が得られた。

また、大阪・関西万博の開催に伴い、多くの外国人入館者が見込まれる中、展示解説の多言語化や QR コードによる展示ガイダンスの導入など受入環境の整備を図った。

これらの取り組みにより、入館者総数は 75,351 人（前年度比+1,670 人）と展示リニューアル後、最高を記録した。一方、中期経営計画の主要な指標である府内公立小中学校の来館率は、大阪・関西万博への小中学生の招待事業の影響により、30.0%（同△1.4%）となり、目標値（31.6%）を下回った。

平和学習の推進については、小中学校の来館時に全校に実施しているアンケート調査で多くの要望があった学校向けアニメ映画を新しく制作した。また、文化庁や国立民族学博物館の支援事業等を活用し、デジタルコンテンツによる映像制作にも取り組んだ。

施設面では、老朽化していた講堂や特別展示室、階段周りの床等の更新工事を計画的に実施し、来館者が安全で快適に見学できる環境整備に努めた。

1. 展示事業

（1）常設展示

必要に応じて、適宜、アップデートに努めた。

2 階展示室

A ゾーン：昭和 20 年、大阪は焼き尽くされた

B ゾーン：世界中が戦争をしていた時代

C ゾーン：戦時下の大阪の暮らし

スロープ

空襲体験者の「証言と体験画の回廊」

1 階展示室

D ゾーン：多くの犠牲を出し、焼け野原になった大阪

3 階展示室

E ゾーン：たくましく生きる大阪

Fゾーン：私たちの未来をつくっていくために

映像コーナー

図書室

映画の定時上映（講堂）

(2) 特別展示

所蔵資料の活用や関係機関・団体の協力を得ながら実施した。

① 大空襲 80 年特別企画「大阪空襲 ～80 年前の記憶～」

＜趣 旨＞ 空襲体験者たちは、自分たちの記憶を後世に伝えるために「証言」や「体験画」というかたちにして残した。

大空襲 80 年特別企画として、空襲体験者の証言を紹介し、その証言に関係した体験画をあわせて展示した。

＜期 間＞ 令和 7 年 3 月 1 日（土）～令和 7 年 7 月 13 日（日）

＜内 容＞ パネルや映像展示

＜参加者＞ 22,619 名

② 被爆・戦後 80 年特別企画「ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展」

＜趣 旨＞ 被爆そして戦後 80 年の節目に、広島市・長崎市との共同で開催し、広島平和記念資料館と長崎原爆資料館が所蔵している写真や体験画、実物資料などを展示した。

開催初日には、広島市長や長崎市副市長、大阪府知事、大阪市長などが出席するオープニングセレモニーも実施した。

（主催：広島市、長崎市、ピースおおさか）

＜期 間＞ 令和 7 年 8 月 22 日（金）午後 2 時 30 分～令和 7 年 12 月 27 日（土）

＜内 容＞ パネルや実物資料、映像展示など

＜参加者＞ 33,593 名

③ 「ピースおおさか収蔵品展 2026」

＜趣 旨＞ 2022 年度以降に寄贈された資料の一部を紹介し、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会とした。

＜期 間＞ 令和 8 年 2 月 17 日（火）～令和 8 年 4 月 19 日（日）

＜内 容＞ 実物資料展示

＜参加者＞ 6,373 名

(3) その他の展示

① 「みんなでサクラを咲かせよう！」アート作品の掲示

2025 年大阪・関西万博において、大阪府が実施したイベント「みんなでサクラを咲かせよう！」（協力：株式会社サクラクレパス）のアート作品をピースおおさかの外壁に掲示した。

② いのちへのメッセージや学校から寄贈された千羽鶴

(4) ワークショップスペース(3階)の有効活用

① 戦後80年 大阪府・堺市連携事業「堺大空襲に関するパネル展」

＜期 間＞ 令和7年7月3日（木）～令和7年8月19日（火）

＜内 容＞ 堺大空襲に関する写真パネルを展示した。

② 「戦後80年・ベトナム戦争終結50周年特別企画 特集展示」

＜期 間＞ 令和7年11月16日（日）～26日（水）

＜内 容＞ ベトナム戦争に関する資料や日越友好に関する資料を展示した。

（主催：大阪府、ピースおおさか、協力：在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館）

③ 学校から提供された平和学習成果物等の展示

2. 企画事業

アンケート結果も踏まえつつ、当館の発信力を強化し、魅力ある事業の展開に努めた。

(1) 平和祈念事業

終戦、開戦、大阪大空襲など節目の時期に、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会として、集客力のある多様なイベントを開催した。

① 戦後80年・終戦の日平和祈念事業

＜実施日＞ 令和7年8月15日（金） 午後2時～午後3時20分

「戦争犠牲者追悼式と平和コンサート」

・内 容：黙とうと平和コンサート（協力：学校法人相愛学園）

相愛大学音楽学部生による金管十重奏

相愛中学校音楽科進学コース・高等学校音楽科生徒による合唱

菊一輪 献花（刻の庭）

・参加者：145名

② 開館の日平和祈念事業

＜実施日＞ 令和7年9月14日（日） 午後2時～午後4時

被爆・戦後80年特別企画「ヒロシマ・ナガサキ被爆体験証言会」

（主催：広島市、長崎市、ピースおおさか）

・内 容：広島と長崎の被爆体験者による被爆体験講話

・参加者：138名

③ 開戦の日平和祈念事業

＜実施日＞ 令和7年12月7日（日） 午後2時～午後4時

「落語と平和 ～ピースおおさか平和寄席～」

・出演者：桂春團治、桂梅團治、桂春之輔、桂咲之輔

・参加者：125名

④ 大阪大空襲平和祈念事業

＜実施日＞ 令和8年3月8日（日） 午後2時～午後3時15分

講演会「空襲の記憶を語り継ぐこと」

- ・ 講演者：エイドリアン・フランシス（映画監督）
- ・ 参加者：71名

(2) ウィークエンド・シネマ

- ・ 日 時：毎週土曜日 午後2時～ ※12月27日、1月を除く。
- ・ 内 容：所蔵している視聴覚資料などの上映
- ・ 参加者：3,704名

(3) 親子まつり

ゴールデンウィーク、夏休み期間にアニメ映画等を上映した。

① ゴールデンウィーク

- ・ 日 時：令和7年4月27日（日）～令和7年5月6日（火） 午後2時～
- ・ 内 容：アニメ「あした元気にな～れ！ ～半分のさつまいも～」の上映
- ・ 参加者：123名

② 夏休み

- ・ 日 時：令和7年7月27日（日）～令和7年8月24日（日）
午前11時～、午後2時～
- ・ 内 容：「星は見ている」等の上映
- ・ 参加者：401名

(4) 府政学習会（大阪府府政情報室との連携事業）

① 随時型府政学習会（今年度は参加団体なし）

② 公募型府政学習会

- ・ 日 時：令和7年10月19日（日）
- ・ 内 容：テーマ学習及び館内見学
- ・ 参加者：55名

3. 館外利用事業

当館のアウトリーチ活動として、館外利用の促進に取り組んだ。

(1) 出前展示

パネル・実物資料の展示、パンフレットの配布等を実施し、将来の来館につながるよう、展示内容の工夫や実施場所の開拓等に努めた。

① 戦後80年 平和祈念交流展「大阪空襲と戦時下の暮らし モノが伝える戦争体験」

- ・ 日 時：令和7年4月22日（火）～令和7年6月29日（日）
- ・ 場 所：帰還者たちの記憶ミュージアム（平和祈念展示資料館〔総務省委託〕）
- ・ 内 容：パネル、実物資料などの展示

② 大阪市立東住吉図書館

- ・日 時：令和 7 年 4 月 18 日（金）～令和 7 年 5 月 14 日（水）
 - ・場 所：大阪市立東住吉図書館
 - ・内 容：実物資料などの展示
- ③ 大阪市立生野図書館
- ・日 時：令和 7 年 5 月 16 日（金）～令和 7 年 6 月 18 日（水）
 - ・場 所：大阪市立生野図書館
 - ・内 容：実物資料などの展示
- ④ 天王寺区役所
- ・日 時：令和 7 年 6 月 3 日（火）～27 日（金）
 - ・場 所：天王寺区役所
 - ・内 容：実物資料などの展示
- ⑤ 令和 7 年度全国博物館長会議
- ・日 時：令和 7 年 7 月 2 日（水）
 - ・場 所：文部科学省講堂
 - ・内 容：ポスター展示
- ⑥ 大阪戦没者追悼式
- ・日 時：令和 7 年 7 月 29 日（火）
 - ・場 所：大阪国際交流センター
 - ・内 容：パネル、実物資料の展示、パンフレットの配布
- ⑦ 大阪市立総合生涯学習センター
- ・日 時：令和 7 年 8 月 5 日（火）～17 日（日）
 - ・場 所：大阪市立総合生涯学習センター ギャラリーA
 - ・内 容：写真パネル、実物資料などの展示
- ⑧ 大阪府立中之島図書館
- ・日 時：令和 7 年 9 月 3 日（水）～22 日（月）
 - ・場 所：大阪府立中之島図書館
 - ・内 容：写真パネルの展示
- ⑨ 大阪市立都島図書館
- ・日 時：令和 7 年 10 月 17 日（金）～令和 7 年 11 月 19 日（水）
 - ・場 所：大阪市立都島図書館
 - ・内 容：実物資料などの展示
- ⑩ 大阪市立旭図書館
- ・日 時：令和 7 年 11 月 21 日（金）～令和 7 年 12 月 24 日（水）
 - ・場 所：大阪市立旭図書館
 - ・内 容：実物資料などの展示
- ⑪ 大阪府立中央図書館
- ・日 時：令和 7 年 12 月 4 日（木）～18 日（木）
 - ・場 所：大阪府立中央図書館

- ・内 容：写真パネルなどの展示

⑫ 大阪市立中央図書館

- ・日 時：令和 8 年 1 月 16 日（金）～令和 8 年 2 月 4 日（水）
- ・場 所：大阪市立中央図書館
- ・内 容：写真パネル、実物資料の展示

(2) 平和学習資料の貸出し

学校、官公署、市民団体等の要請に応じ、平和学習用資料(写真パネル、空襲体験画、ビデオ、DVD 等)の貸し出しを行った。

資料の充実に努めるとともに、特に遠方の学校等については、来館に代わる平和啓発活動の一環として広報に努めた。

また、学校における平和学習の授業で利用することができる「平和学習デジタルコンテンツ」を提供した。

- ・平和学習用資料の貸出件数：298 件（利用人数 110,242 人）
（小学校 86 件、中学校 50 件、高等学校 3 件、自治体 55 件、その他 104 件）
- ・平和学習用資料の貸出資料種別（延べ 545 件）
（ビデオ 7 件、DVD 414 件、紙芝居 15 件、パネル 56 件、体験画 37 件、
実物資料 16 件）
- ・平和学習デジタルコンテンツの提供学校数：132 校

4. その他の事業

(1) 戦後 80 年 大阪府・堺市連携事業「堺大空襲 次世代の語り部による講話イベント」

- ・日 時：令和 7 年 7 月 6 日（日）
- ・内 容：堺市立平和と人権資料館職員による「堺大空襲」の説明、堺大空襲 次世代の語り部による講話
- ・参加者：36 名

(2) 「戦後 80 年・ベトナム戦争終結 50 周年特別企画 映画上映会」

- （主催：大阪府、ピースおおさか、協力：在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館）
- ・日 時：令和 7 年 11 月 16 日（日）
 - ・内 容：ベトナム関連の映像 2 作品の上映
 - ・参加者：37 名

(3) 「大阪市児童絵画・版画作品展」(大阪市小学校教育研究会図画工作部主催)

- ・日 時：令和 7 年 7 月 26 日（土）～令和 7 年 8 月 19 日（火）
- ・内 容：各校から 2 枚ずつ選定された作品を前期・後期に分けて特別展示室に展示
- ・参加者：展示作品の児童父兄等約 2,100 名

(4) 生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪 2025

(大阪市都市整備局企画部住宅政策課事業への協力)

- ・日 時：令和 7 年 10 月 25 日(土)～26 日(日) 午前 10 時～、午後 2 時～
- ・内 容：ガイドツアー(館内及び屋上見学)
- ・参加者：21 名

(5) 講堂・会議室の利用

府内の自治体(教育委員会含む)や公共的団体等が講堂や会議室にて平和・人権に関する研修会等を行う場合に、各団体の申請により施設の使用を許可し、あわせて申請があれば使用料等を免除することとして施設の有効活用を図った。

- ・使用許可件数：26 件

＜主な利用例＞

① 国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール(大阪ユネスコ協会主催)

- ・日 時：令和 7 年 9 月 21 日(日) 午後 1 時～午後 5 時
- ・内 容：外務省・公益財団法人国際連合協会主催の上記コンクールの大阪府代表を決める審査会
- ・参加者：55 名

② 「ユニセフシアター」(大阪ユニセフ協会主催)

- ・日 時：令和 7 年 9 月 23 日(火) 午後 1 時～午後 4 時
- ・内 容：「さとうきび畑の唄」を上映
- ・参加者：41 名

③ 大阪府教員初任者研修

- ・日 時：令和 7 年 11 月 11 日(火)、13 日(木)、25 日(火)、26 日(水)、27 日(木)、12 月 2 日(火)
- ・内 容：新任教員等に対する平和・人権研修
- ・参加者：約 1,100 名

5. 「刻の庭」の管理運営

大阪空襲死没者の追悼及び恒久平和を祈念するため、2005(平成 17)年度に整備した「刻の庭」の管理運営を行った。

大阪空襲死没者名簿の管理、新規登載申出の受付等を行った。

＜空襲死没者名簿(原簿)の管理＞

- ・追加登載者数：12 名
 - ・名簿の訂正：8 名
 - ・登載者数計：9,171 名(令和 8 年 3 月 31 日現在)
- (内訳) 公開 9,123 名(刻の庭前で公開)、非公開 48 名

6. 資料の収集・提供

実物資料、視聴覚資料、図書資料の適切な収集と管理に努め、展示及び貸出資料への

利活用を図るとともに、「収蔵品管理システム」により資料の整理、保存等を行った。
前年度制作した戦争体験者の証言映像は、DVDの団体向け貸出を6月から開始し、終戦の日である8月15日にYouTubeで公開した。

学校向け平和学習用デジタルコンテンツ「戦争と人々の暮らし」の利用促進を図るとともに、コンテンツの機能拡充、デジタルアーカイブ資料の活用の拡充に取り組んだ。

また、令和7年度文化庁Innovate MUSEUM事業の一環として、令和6年度に撮影した戦争体験者の映像と大阪府が平成21年度に「平和情報収集・発信事業」として制作した証言映像DVD・ビデオ「大阪大空襲」のマスターデータをもとに、2名の戦争体験者の証言映像を制作した。

令和7年度国立民族学博物館公募型共創メディア展示事業の支援により、一般向け平和学習デジタルビューアの制作や平和学習デジタルコンテンツを活用したモデル授業等の映像制作に取り組んだ。

新作アニメ「大阪大空襲 十二歳のあの日 ～赤い空と灰色の街～」を制作した。

資料収集件数

(単位：点)

	寄贈資料	購入資料	製作資料
実 物 資 料	23	0	0
視 聴 覚 資 料	14	26	4
文 書 資 料	12	0	0
図 書 資 料	62	68	0
計	111	94	4

2026（令和8）年3月末の資料収集件数（収蔵検索システム登録件数）

・物品：11,599点

(実物 5,069点、文書 2,087点、視聴覚 4,438点、その他 5点)

・図書：34,966点

合計：46,565点

7. 広報・啓発

(1) ホームページの運営

ホームページにより施設利用案内や事業広報等の情報提供を行うとともに、ホームページの更なる充実について検討を行った。

・アクセス数：149,566回（うち、日本は88,777回）

(2) SNSでの情報発信

観光客の来館誘導の強化を図るため、XやFacebookで情報発信を行ったほか、YouTubeで動画を公開した。

(3) 印刷物の作成・配布

リーフレット「展示のしおり」の配布に加え、各種企画事業のチラシやポスターを適宜作成、配布するとともに、館報「ピースおおさか」を発行した。

(4) 学校等に対する多様な媒体を活用した広報

関係組織や旅行社、来館実績のある府外学校等へダイレクトメールを送付した。
府市、中核市の教育委員会等（小中学校校長会、人権担当者会議を含む）に対して、
校外学習での当館への来館や貸出資料の利用を促した。

8. 来館者サービスの向上

学校の来館時期を分散化させることにより、見学しやすい環境を整え、学習効果を高めた。また、雨天時等の学校見学時に昼食場所を提供した。

近年大きく増加している外国人来館者に対しても館内見学がしやすいように、展示の英語表記の充実やQRコードによる展示ガイダンスを導入した。

アンケート結果も踏まえて、来館者のサービス向上に取り組んだ。

なお、今年度の入館者総合満足度及び学校満足度（平和学習到達度）は96.4%であった。

9. 自主財源（平和寄金）の確保

あらゆる機会等を通じて、平和寄金の趣旨（企画事業・特別展示等の原資）と寄附に係る税の優遇措置を説明し協力を求めた。

なお、今年度の平和寄金収入は1,522,249円であった。

「ピースおおさか友の会」会員の新規拡大に努めた。

＜「ピースおおさか友の会」入会状況＞

- ・個人会員：41名
- ・団体会員：5団体

10. 効率・効果的な事業の実施

企画事業の充実を図り、収蔵品など既存ストックの有効活用に努めつつ、効率・効果的な事業実施等を行った。

財団内部の「企画会議等」において、経費支出の精査を行い、運営コストの抑制に努めた。

府市と入館者増に向けた取組み状況・課題を整理するため、適宜、「集客等ワーキング」などを開催した。

11. 施設の保全・補修

ピースおおさかの長寿命化及び安全性・快適性の確保を図るため、平成28年度に作成した「施設修繕計画」（平成29年度から10年間）に基づき、補修工事を計画的に実施した。

＜実施内容＞ 講堂、特別展示室、館内床更新工事、1階展示室（Dゾーン）プロジェクター更新等